



Recruit Information
社会福祉法人 あかりの家

職員募集のご案内



3 社会福祉法人 あかりの家 つの強み

1

**一般企業にはない
安定した経営体制**

倒産や解雇リスクが
とても低い

ごあいさつ

障害者支援施設 あかりの家 施設長 坊垣 勝彦

2020年4月1日付で障害者支援施設あかりの家施設長に就任しました。どうぞよろしくお願いいたします。

あかりの家は、3人の自閉症者の親が中心となって、さまざまな苦難を乗り越え1986年4月に開設されました。

その後、1994年4月に三原前施設長が就任され、2020年3月末の退任に至るまで26年という長きにわたり、あかりの家の歴史を積み上げて来られました。

この間、複数のスーパーバイザーを招いての療育研修や事例研究会、嘱託医による学習会を開くなど、丁寧な支援と高度な専門性で「福祉は人なり」を実践して、あかりの家保護者のみならず地域の関係者からも信頼を得てきました。

当初1法人1施設であった社会福祉法人あかりの家も、現在では、自閉症成人施設・障害者支援施設あかりの家(定員40名：生活介護・短期入所等も実施)に加え、多機能型事業所ワークホーム高砂(定員40名：生活介護・就労継続支援B型)、児童デイサービスあかりの家(定員10名：児童発達支援・放課後等デイサービス)、地域支援センターあいあむ(計画相談支援等、東播磨圏域コーディネイト事業)、ひょうご発達障害者支援セン

タークローバー(県委託事業)、高砂市障がい者基幹相談支援センターみんと及び自立支援協議会の運営(市委託事業)など、幅広く事業展開し、『自閉症総合援助センター』を標榜しています。

2020年4月、あかりの家は開設35年目を迎えました。

我々役職員一同は、引き続き、あかりの家の歴史の重みとそれを受け継ぐ責任を感じつつ、歩み続けて参ります。

具体的には、これまであかりの家が自閉症支援の拠点施設として展開してきた高い専門性と地域からの信頼などのソフト的な財産を維持・発展させていながら、法人役職員一丸となって前進する決意です。

そのことが、ひいては社会における自閉症への理解とその支援の重要性の認識に繋がっていくものと考えています。

あかりの家設立の“志”として、県内の自閉症の人々とその家族により良い人生を提供するというのがあり、そこに「自閉症者施設」としての存在意義があります。

自閉症支援の“専門性”の追求は基本的なテーマとして揺るがないものです。それは、あかりの家が地域で果たそうとする役割と不可分な関係にあります。それらを実現すべく、“人材育成”と“組織強化”を引き続いての重要課題としていきます。

あなたも、社会福祉法人あかりの家の次世代を担う一員になりませんか!

2

利益追求ではない 「幸福追求」

競争社会が全てではない、
一人ひとりの個性にあった仕事

3

社会福祉法人 だからできること

社会貢献を仕事にすることの
使命感、そして充実感

自閉症支援のおもしろさ♪

困っている自閉症の人をとにかく何とかしたい。これが仕事の原動力。

自閉症支援をしていると、自閉症に関する専門書には書いていない色々な出来事に遭遇します。

彼らの表現・メッセージを感じ取り、仮説を立てて支援を行う。困っていることを一つずつ解決していき、より良い人生を提供していくことがこの仕事のおもしろさです。

また自閉症支援は“チーム支援”の視点が欠かせません。同じ方向・目的に向かってチーム一丸となって色んな個性を持った職員と共に働くことがこの仕事の魅力です。

あかりの家
支援部 課長補佐
前阪 敬介



自分らしくキャリアアップ！人材育成は法人・施設の将来の命運を握ります。

その領域は、運営・チーム・倫理・知識・技術などがあげられます。軸は、利用者に少しでも張り合いのある生活を送っていただく為の療育的視点・技術を高めることです。

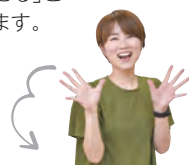
キャリアパスの意義は「何となく育つのではなく、どのような知識・技術を習得していくか？将来のイメージを見通せる」こと。それが、**職員の励み**になることをキーと考えています。
(支援部長 亀山隆幸)

あかりの家で
どう育っていく？
どんな職員になる？

キャリアアップの
仕組み（イメージ）



初年度
しっかり学ぶ



2～3年目
信頼される
職員に



4年目以降
後輩の指導も
出来る
サブリーダー



10年目以降
チームを引っ張る
リーダーへ

10年後は
こんなあかりの家に
したい！



Q 人生の応援とは…？

A 「お世話でなく、人生の応援をしたい!」そんな思いにチームが奮い立ってから、もう20年。今、約100名もの職員が、切磋琢磨する法人へと成長しました。

- 「いくら障害が重くても働こう」
- 「パニック等の失敗経験で終わらず、成功を積み上げたい!」
〔日常生活、医療受診、外出・旅行、家族のライフイベント(結婚式、葬儀)…〕
- 「地域で暮らす行動障害の激しい方たちの応援もしたい!」

そこには、療育的な視点が欠かせません。私たちは支援のアイデアを追求し、「自閉症の方たちの可能性を切り拓く」ことに、「目の輝き」を持ち続ける法人・施設です。

Q これから入職を希望される方に一言

A 自閉症は、今や100人に1人とも言われています。少数派ではありません。しかし、ご本人・ご家族が前を向いて生きていく為には、支援者からの『良質な支えられ経験』が欠かせません。利用者との向き合いで得たものは、自分の人生を豊かにしていただけると断言できます。



01 あかりの家 支援部長
畠山 隆幸

Q 私の支援の見つけ方

A ワークホーム高砂は「働く」という事をベースにしている多機能型事業所です。知的障害や自閉症などの障害に加え作業能力も様々で1人ひとりに応じた作業支援が必要です。しかし、全ての職員が同じ支援を行っているわけではなく、自分と利用者さんの関係性が支援に大きく関わってきます。1年目の時は間違っているのか、あっているのかさえわかりませんでしたが、利用者さんとの関わりを深めていく中で少しずつ支援の方向性が見えてきたように思えました。先輩方だけでなく利用者さんからも多くのことを学び、後輩ができた今では後輩からも学び、常に成長し続けることができることに支援者としてのやりがいを感じています。

Q これから入職を希望される方への一言

A 「障がい」というものを知らなくても、学ぶ機会がたくさんあります。また先輩方はとても話しやすく、困ったことがあれば必ずサポートしてくれます。1年目でも不安なく働くことができました。福利厚生もしっかりとしています。産休育休もとれ、復帰後もサポートしていただきながら仕事と子育ての両立ができ、とても働きやすい職場です。



02 ワークホーム高砂 支援員
大谷 彩花

Q 入職理由は？

A 大学時代は社会福祉の勉強をしており、障害者施設での実習を通して、障害のある方の支援をする仕事に興味を持ちました。就職活動であかりの家を見学し、アットホームな雰囲気や、職員の明るい振る舞いに魅力を感じ、入職を決めました。

Q これから入職を希望される方に一言

A 大変な仕事ではありますが、その分やりがいのある仕事です。また、自分自身の事を知る機会も多いので、利用者さんの生活を応援する仕事ではありますが、自分の成長にも繋がる仕事だと思います。自分の特色を生かして働ける職場です。



03 あかりの家 支援員
今後 亜矢加

Voice Q&A



04 児童デイサービス 支援員
森澤 彩乃

Q どうしてあかりの家に就職したいと思ったのか？

A 私は保育士か幼稚園教諭になる為に、大学へ行っていました。しかし、実習先の保育園や幼稚園で障がい児と出会いすごく可愛く思え、仕事として関わっていきたいと思うようになっていきました。保育園や幼稚園で働きながら障がい児と関わっていくという事も考えましたが、より専門的な事を学びながら働けるあかりの家に就職を決めました。

Q これから入職を希望される方への一言

A どの仕事でも一緒だと思うのですが、“学ぶ”という事が大事だと思います。先輩職員から学ぶことも、自ら知りたいと思ひ学ぶこともとても大事です。障がい者や障がい児についてたくさん学べるこの職場は自分が成長するうえで大切な学ぶ機会がたくさんあります。興味があることについてたくさん学んでください。そして、良い支援員を目指してください。

Q あかりの家のいいところ・仕事のやりがい

A この施設のいいところは、やる気のある人が多い。仕事を一生懸命する人が多いので、やる気のある人は、働きやすいと思います。仕事のやりがいは、自分も利用者さんも変われるところ。最初は辛かった・しんどかった仕事も分かるようになり、面白くなってきました。最近は後輩と面白さを共有出来るのが楽しいです。

Q これから入職を希望される方に一言

A 仕事を通して、人間の本质が学べると思います。自分の事は分からない人も多いと思いますが、自分の事も知れるようになると思います。利用者さんは“素”なので、利用者さんの前では素でいられると思います。変な人間関係に疲れている人は、いいかもしれません。



05 あかりの家 副主任(支援員)
眞鍋 美香

Q この施設のいいところ・仕事のやりがい

A あかりの家も、あいあむも「利用者さんの人生の応援」をしています。1人ひとりがたくさん持っている強みを生かして、みんなで応援しています。ご本人の楽しみが増えていくことを一緒に楽しめるお仕事だと思います。私は、あかりの家に勤めたのち、「あいあむ」に異動になりました。あかりの家に入所されている利用者さんや先輩方から教えて頂いたことが、相談支援の土台となり、いつも「ご本人中心の支援」を支えてくれています。

Q これから入職を希望される方に一言

A 初めての夜勤の日、1人で本当に大丈夫が心配でした。仕事が一区切りし、記録を書こうとしたとき、ファイルに先輩職員からのお手紙がありました。「もし、しんどいことがあって気持ちに余裕がなくなったら無理せず言うて下さいね。この仕事は大変だけど、楽しくなれますよ。」あかりの家で仕事を始めた時は、分からないことばかりでしたが、先輩職員が常にサポートして下さい、私自身も応援してもらっている安心感がありました。相談できる人が身近にいる環境の中で、仕事の楽しさを見つけていくことができる職場だと思います。



06 あいあむ 相談支援員
石井 貴子

あかりの家で働くハテナ？ ／ すべてお答えします！ ／

勤務形態はこちら。実際に働いている実例をご紹介します。

あかりの家 平日の流れ

6:00~ 7:30	8:00~	9:00~	9:30~	10:00~	12:00~	13:30~	15:00~	15:30~	17:30~	18:00~	20:00~	21:00~
起床・身支度	★出勤 朝食	引継ぎ	ランニング	午前作業	昼食	午後作業	おやつ	入浴・夕食暇	★退勤 夕食	夜余暇	就寝準備	消灯・夜間業務
 朝のランニングは 体がシャキッと するのでおススメ!								今日は8:30から 17:30までの勤務。 日課に合わせて 業務がすすんでいくよ😊 各業務、みんなで 分担しています。 				
												

ワークホーム高砂 一日の流れ

8:30~	9:00~	11:30~	12:30~	16:40	16:45	16:50	16:50~	17:30~
★出勤 職員での引継ぎ	クリーニング作業／納豆作業 作業開始	1時間休憩	作業開始	作業終了	終わりの会	利用者帰宅	各担当利用者のケース記録記入 利用者帰宅後	★退勤
 休日はなにに遊ぶのかな						 水曜日は利用者さんは15:30帰宅、その後週替わりで会議や研修が行われる。		

未経験でも
大丈夫？

勤務形態って
どんなの？

お給料って？

大変そう…



未経験でも大丈夫！ 先輩たちが丁寧に教えてくれます。

自閉症の人たちへの支援の知識や
技術を高めるために…

業務レクチャー

各業務先輩がマンツーマンでついてレクチャー。
複数回あるので、安心!じっくり覚えていける!

レポート

自分の支援を言語化して振り返る。
先輩の分かりやすいコメントで自分のレベルUPにつながる!!
自信がつく!

職員研修への参加

- 療育研修 ●嘱託医による学習会及び相談日 ●事例研修会
- 職員が生きがいを持って輝けるプロジェクト



Attention

あかりの家の新任研修の土台はしっかりしている!
だから、未経験でも安心して働くことができる!

先輩たちは、全力で
あなたをフォローします。



福利厚生

休 暇

休 日 週休 2 日
有 給 休 暇 4月採用の場合、4月1日に10日付与
(法令では6か月勤務後に付与)
その他休暇 特別休暇(結婚、出産、弔意)、療養休暇、
生理休暇、産前産後休暇、育児休業、子
の看護等休暇、母子健康管理のための休
暇等

社会保険

完備(健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労災保険)

退職金

兵庫県民間社会福祉事業職員退職共済
独立行政法人福祉医療機構社会福祉施設職員等退職共済

福利厚生センター SowelClub 事業

健康生活用品給付、結婚祝い品、出産祝い品、入学祝
い品、永年勤続記念品、死亡弔慰金、入院手術見舞金、
災害見舞金、資格取得記念品、チケット斡旋 等

自己研鑽支援制度

自己啓発に係る図書購入費、研修参加費の助成等

その他

自動車通勤可、勤務地はすべて高砂市内

福利厚生なども
充実しているので安心!



沿革

- 1985年 4月 「社会福祉法人あかりの家」認可
- 1986年 4月 精神薄弱者更生施設あかりの家開設(現、障害者支援施設)
- 2002年10月 グループホーム「希望山荘日笠」開設
- 2003年 4月 知的障害者通所授産施設「ワークホーム高砂」開設
(現、多機能型事業所：生活介護、就労B型)
- 2003年12月 自閉症・発達障害者支援センター受託
(現、ひょうご発達障害者支援センター クローバー)
- 2012年 1月 児童デイサービスあかりの家 開設
- 2014年 4月 地域支援センターあいあむ 開設
- 2015年 4月 グループホーム「オリーブの家」開設
- 2017年 4月 グループホーム「友愛の家」開設
- 2020年10月 納豆工房「なっとこちゃん」開設

あかりの家で
製作した
さをり織りです。



各施設紹介

障害者支援施設・自閉症成人施設 あかりの家



全てはここからはじまりました。「行動障害がみられる方たちを応援していきたい。」
このことを原点に、自閉症の施設としての専門性を追求し、地域の拠点的作用を果たしていきたいと考えています。

児童デイサービス あかりの家



大人になった時に自分らしく社会の中で生きていくことができるよう“発達の芽”を療育支援により育てます。

ひょうご発達障害者支援センター クローバー



専門スタッフが発達障害のあるご本人、ご家族、関係機関の相談に応じ、相談に来られた方が豊かな生活が送れるよう助言を行います。

地域支援センター あいあむ



ご本人・ご家族が地域で安心して暮らすことが出来るよう①相談支援②地域づくり③人材育成を中心に地域支援の拠点を目指します。

多機能型事業所 ワークホーム高砂



クリーニング工場 納豆工房 なっとこちゃん

本格的なクリーニング工場における作業と納豆の製造・販売を通して、「働く中でたくましく!」を目標に障害者の就労を支援しています。どんなに重い障害者でも社会に役立つその人らしい働き方ができるよう惜しみなく支援します。

グループホーム 希望山荘日笠



希望山荘日笠

オリーブの家

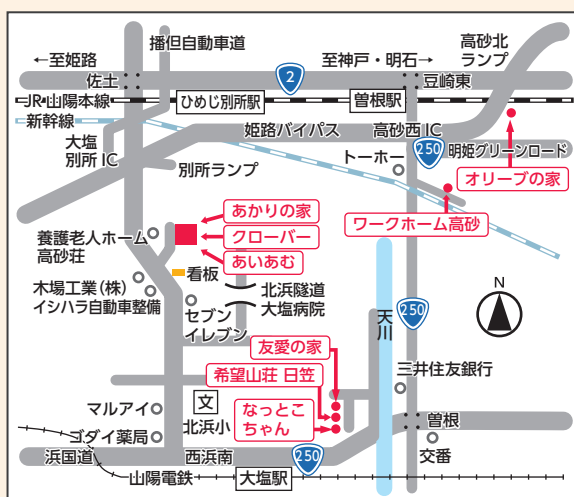


友愛の家

重度の自閉症や知的障害を伴う方が、地域の中で自分らしく、安心して自立した生活ができるように、専門職員が支援します。

その他の事業

- 兵庫県強度行動障害地域生活支援事業(兵庫県委託)
- 高砂市障がい者基幹相談支援センター運営等事業(高砂市委託)
- 高砂市障がい者自立支援協議会運営等事業(高砂市委託)
- 障害児等療育支援事業(兵庫県・姫路市委託)
- 東播磨臨海地域における相談支援事業(播磨町、稲美町委託)
- 被虐待障害者一時保護事業 他



お問い合わせ先

社会福祉法人 あかりの家

〒671-0122 兵庫県高砂市北浜町北脇504-1

TEL 079-254-3292

FAX 079-254-3403

<http://akarinoie.org/>

ホームページは
こちらから

